

マダラキボシキリガ

Dimorphicosmia variegata

兵庫県：要調査

環境省： —

種の概要

開張24mm程度。前翅は♂では茶色みを帯びた黒褐色で、内横線及び外横線は後縁付近で白色となる。♀ではクリーム色地の明るい色調で、外横線の外側は茶褐色を呈し、環状紋、腎状紋及び楔状紋は黒色に縁取られる。後翅は黒褐色で黄色の半音を有する。山地に生息し、幼虫はシナノキを食べる。成虫は年1化性で、7月～9月に見られる。



写真提供：高島昭

国内分布

北海道、本州、四国、九州

県内分布記録

香美町

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
		○	○		○

特記事項

局地的で個体数が少ない種で、優れた自然の指標種になりうるが、現状では産地が1箇所のみで調査が必要。分布は食餌植物(シナノキ)の分布に依存。

保護上の留意点